

2015年度 第1回白星会の報告

今年度の第1回白星会講演会を10月24日(土)に大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホールで開催しました。講師に本学機械学科1976年卒で安川電機の津田純嗣代表取締役会長兼社長を招いて、演題「ロボットで革命を起こす」で講演いただきました。

同日は今話題になっている「火山」をテーマにした蔵前技術交流会が開催されているにもかかわらず、参加者は岸本工学部長、小川白星会会長をはじめOB38名、学生10名の合計48名で、津田会長の熱の入った講演に、皆さんとても熱心に聴講しておりました。

講演内容は、産業用ロボットを主体のテーマにして、ロボットの歴史から最新ロボット技術、世界の動向、将来のロボット技術、各国の産官学の開発目標の違い、中国市場など深く幅広い内容で、非常に興味深いものでした。また国内1,2位のロボットメーカー社長がいずれも本学一般材力研出身であるとの本学機械系には誇らしいエピソードも話されました。最後に東工大へのお願いとして、大学は技術だけでなく価値の創造も併せて研究し、社会で実装して利用価値の高い本物の技術になるという意識を持つよう要望されました。それに対し、岸本先生から企業と協力して良い技術を創造したいと発言されました。この他にも質疑応答が活発に行われ、終了時間をオーバーした熱の入った素晴らしい講演になりました。

講演会後には第1食堂2階のパーティールームで津田会長も交えて懇親会を開催しました。小川会長の乾杯の発声で、参加学生全員が質問し津田会長が回答し、フライト時間ぎりぎりまでお付き合いいただきました。会員同士や学生さんとの会話を楽しみ、大変盛り上がる懇親会でした。

文化教養部会